

2020年11月18日

各位

会社名 アストラゼネカ株式会社
代表取締役社長 ステファン・ヴォックストラム

持続可能な脱炭素社会の実現を目指す企業グループ
「日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP)」へ加盟します

アストラゼネカ株式会社は、2020年11月10日、全世界において2050年までに温室効果ガス排出量をゼロとする目標を支持し、持続可能な脱炭素社会の実現を目指す企業グループである「日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP)」に加盟したことを報告します。

弊社は2025年までに、グローバル規模でオペレーションにおける二酸化炭素排出量をゼロにする「アンビション・ゼロカーボン」プログラムの実施、および2030年までにバリューチェーン全体でのカーボンネガティブ（排出する二酸化炭素より吸収量が多い状況）達成を目標としています。

気候変動は公衆衛生、環境および世界経済の持続可能性に対する喫緊の課題です。迅速に会社としての行動や取り組みを強化し、企業活動の気候への影響を最小化していきます。

JCLPへの加盟により、パリ協定と整合する脱炭素化社会の実現を後押しする意思と行動を社会に示し、自社の脱炭素化の実践を通じて、国際的及び地域の持続可能な発展に寄与して参ります。

日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP) とは

脱炭素社会の実現には産業界が健全な危機感を持ち、積極的な行動を開始すべきであるという認識の下、2009年に日本独自の企業グループとして設立。幅広い業界から日本を代表する企業を含む143社が加盟（2020年7月現在）。加盟企業の売上合計は約117.8兆円、総電力消費量は約48.2Twh（海外を含む参考値・概算値）。

脱炭素社会の実現に向け、横浜市との包括連携協定の締結や、国際非営利組織 The Climate Group のローカルパートナーとして RE100、EV100、EP100 の普及窓口を務めるなど、自治体や海外機関との連携も進める。URL: <http://www.japan-clp/>

以上